

様式第1号

佐賀県波戸岬海浜公園
指定管理者 指定申請書

令和 2年 10月 6日

佐賀県知事 山口 祥義 様

(申請者)

住 所 静岡県下田市一丁目 6-18
NanZ VILLAGE
法人・団体名 株式会社 VILLAGE INC
代表者役職・氏名 代表取締役 橋村 和徳

連絡先・担当者名

電話・FAX番号 TEL:090-7380-2581

FAX:054-333-5321

Eメールアドレス

佐賀県波戸岬海浜公園の指定管理者の指定を受けたいので申請します。

事業計画書（総括票）

団体（その他の団体・グループ）名：

<p>管理運営の基本方針</p>	<p>引き続き、施設の設置目的である「観光の振興を図り、地域の振興に寄与すること」を基本理念として、交流の場、憩いの場として施設利用者が安心して安全に利用出来る施設運営を目指します。 波戸岬海浜公園が自然体験事業における集客装置となり、周辺事業も含めた賑わいを創出していけるように地区町役場、地域事業者、地域生産者、地域住民等の関係者と協力、連携して地域の活性化に貢献していきます。 年齢や客層を問わず、誰もが公平、公正に利用して頂けるような施設運営を行い、かつての賑わいの地「肥前名護屋」から全国に好事例を発信していける海浜公園を目指します。 また、魅力的な波戸岬の自然資産をより良い姿で未来の世代へ引き継げるよう管理運営を行なっていきます。</p>
<p>管理運営を希望する目的及び理由</p>	<p>当社は経営指針に ・Living and Learning with Nature ・自然の恩恵を活かした空間と忘れかけていた非日常体験をもって人々に感動の時を提供する を掲げ、日々事業に邁進しています。 遊休地を人が集まるアウトドアフィールド「VILLAGE」として整備し、そこに仕事と雇用を生み、人と地域が成長する場として各地に展開しています。その経験から得られたノウハウと視点は、各事業においてマーケティング、集客、顧客満足度調査、地域連携、広域連携等に活かされています。 自治体を事業パートナーとして当社のノウハウを融合させ、絶好のロケーションである波戸岬海浜公園、波戸岬キャンプ場を基軸とし、歴史ロマン溢れる名護屋の地に賑わいを取り戻し、人と地域を豊かにするために力を尽くし、さらなる進化に貢献したいと考えています。</p>
<p>施設の運営計画</p>	<p>1 開閉場日・時間等 ○ 開場予定時間 開場（ 9：00 ）～閉場（ 17：00 ） ※但し、週末や繁忙期は閉場最大 20:00 とする ・オートサイト、一般サイト、フリーサイト チェックイン：12:00～17:00 まで チェックアウト：11:00 まで デイキャンプ：11:00～20:00 ・プレミアムサイト チェックイン：1日目の10:00～17:00 チェックアウト：2日目の17:00 まで ○ 閉場予定日（毎週 水曜日） ※但し、ゴールデンウィーク、8月等の繁忙期は無休 ○ 営業期間 通年</p> <p>2 当施設利用者に対するサービス向上対策 ○ 徹底した品質管理 ・整理、整頓、清掃、日常点検、巡視 ・人材教育及びオペレーションマニュアル整備 ・緊急時対応マニュアル整備</p>

- ・植栽管理
- ・継続雇用、地域採用、移住促進
- 利用者にも地域にも感動の時間を提供するサービス
 - ・複数回の多彩なイベント
 - ・住民参加型イベント
 - ・地域アクティビティ事業者連動サービス
 - ・企業研修、実習利用
- ニーズ分析、広報、利用者増加施策
 - ・顧客満足度調査
 - ・イベント連動PR
 - ・インターネット予約システム導入
 - ・クレジットカード決済システム導入
 - ・SNS 拡散連動企画

3 人員配置計画（概要）

役職	人数	1人当たり年間 給与額（千円）	備考 （資格・職種等があれば記載）
管理責任者	1		
スタッフ	2～3		
業務委託	1		
アルバイト	5～8		※週末や祝日、繁忙期のみ

提案型事業等の実施計画

実施を予定している主な事業

事業名	事業の目的・概要	予算額 （千円）
売店事業		1,500
レンタル事業		3,000
イベント企画		200
設営サポート		100
観光案内パンフレットの設置		-300

施設の収支計画

指定期間中の収支予定額（単位：千円）

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入の部	37,660	38,560	38,660
県委託料	10,240	10,380	10,140
利用料収入	27,350	28,110	28,450
その他	70	70	70
支出の部	37,660	38,560	38,660
人件費	19,250	19,500	19,750
施設維持管理費	13,720	14,220	13,720
施設運営事業費	4,690	4,840	5,190
収支差額	0	0	0

注) 「県委託料」欄は、県からの交付を希望する委託金額を記入してください。

注) 光熱水費は、維持管理費の中に入れてください。

その他特記事項

単独団体名・共同事業団体名 株式会社 VILLAGE INC

1 施設の設置目的の確実な実施見込について

(1) 管理運営の基本方針

【県民に愛され親しまれる公共施設と歴史資産を次世代に引き継ぐ】

施設の設置目的である「観光の振興を図り、地域の振興に寄与すること」を基本理念として、交流の場、憩いの場として施設利用者が安心・安全に利用出来る施設運営を目指します。

波戸岬海浜公園が自然体験事業における集客装置となり、周辺事業も含めた賑わいを創出していけるように地区町役場、地域事業者、地域生産者、地域住民等の関係者と協力、連携して地域の活性化に貢献していきます。

年齢や客層を問わず、誰もが公平、公正に利用して頂けるような施設運営を行い、かつての賑わいの地「肥前名護屋」から全国に好事例を発信していける海浜公園を目指します。

そして、全国的にも稀な国指定特別史跡 名護屋城跡並陣跡に位置するキャンプ場として、その価値を喪失せず次世代へ引き継ぐ管理運営を目指します。

- 定期的な点検に基づく補修を行い、施設の長寿命化を目指す
- 計画的な更新や補修により、維持管理費の縮減・平準化を進める
- 将来の顧客動向やトレンドの変化に対応し続ける場づくりを進める
- 歴史資産を傷つけないよう配慮し管理運営を行う
- 「観光の振興を図り、地域の振興に寄与すること」の実現に向け、公共施設を最大限に活用しサービスを提供する

(2) 管理運営を希望する理由と目的

当社は経営指針に

- ・Living and Learning with Nature
- ・自然の恩恵を活かした空間と忘れかけていた非日常体験をもって人々に感動の時を提供するを掲げ、日々事業に邁進しています。

遊休地を人が集まるアウトドアフィールド「VILLAGE」として整備し、そこに仕事と雇用を生み、人と地域が成長する場として各地に展開しています。

その経験から得られたノウハウと視点は、各事業においてマーケティング、集客、顧客満足度調査、地域連携、広域連携等に活かされています。

その実績を各地に横展開するために株式会社ジェイティービーと協業し、地域に根差した“VILLAGE”を創り上げる事業（①地域開発コンサルティング、②人材育成、③特産品開発・販売）を開始しました。

この取り組みにおける行政と連動した初の事例として本施設の管理運営を行い、成功事例として全国に誇れる施設と観光振興の事例にしたいと考えています。

自治体を事業パートナーとして当社と株式会社ジェイティービーのノウハウを融合させ、絶好のロケーションである波戸岬海浜公園、波戸岬キャンプ場を基軸とし、歴史ロマン溢れる名護屋の地に賑わいを取り戻し、人と地域を豊かにするために力を尽くし、さらなる進化に貢献したいと考えています。

2 施設の平等利用が確保されることについて

(1) 平等利用確保及び生活弱者等への配慮について

【九州で最も多様性のある臨海野外フィールド】

特定の誰かだけに愛される海浜公園・キャンプ場ではなく、下記に示すような役割の異なるサイト群で多様なニーズに対応出来る開かれた施設を目指します。

コロナ禍の現在にマッチしたオープンエアな空間の価値を最大限発揮し、全エリア Wi-Fi を整備することでリモートワークやワーケーション拠点としての活用方法も見出し、従来のキャンプ場以外の用途まで含めた多様性あるフィールドを目指します。

○オートサイト

- ・周辺都市のファミリー層を中心に継続的な利用を見込む

○一般サイト

- ・リーズナブルなキャンプ利用や、サイトごとのプライバシー確保を求めるキャンパー層の利用を見込む

○フリーサイト

- ・こだわりキャンパー、キャンプ上級者を中心に利用を見込む
- ・区画割のない自由なサイトレイアウトとし、キャンプギアにこだわりのある客層を取り込む

○プレミアムエリア（貸切りサイト）

- ・キャンプ初心者を含む団体や企業等の利用を見込む
- ・企業研修、イベント、アウトドアウェディング、同窓会等のニーズを取り込む

○海浜公園エリア

- ・キャンプ利用以外の潜在顧客や繁忙期以外の集客を見込む
- ・宿泊無しのイベントニーズ（ヨガ、ドローン、音楽イベント等）を取り込む

【柔軟な価格設定】

Wi-Fi は整備されるものの、前回のリニューアルに伴う施設改修から大きく施設が進化しないことと、公の施設であり誰でも幅広く利用頂ける施設にするため、現行の利用料金を維持したいと考えています。

◆現在の利用料金（税込）

		料金①	料金②	利用時間
一般キャンプ	[1泊2日]	3,850	2,200	チェックイン 12:00~17:00 チェックアウト 11:00まで
	[2泊3日]	7,700	4,400	
	[3泊4日]	11,000	6,600	11:00~20:00
	[日帰り]	2,750	1,650	
		料金①	料金②	
オートキャンプ	[1泊2日]	6,600	4,400	チェックイン 12:00~17:00 チェックアウト 11:00まで
	[2泊3日]	12,100	7,700	
	[3泊4日]	17,600	11,000	11:00~20:00
	[日帰り]	4,400	2,750	
温水シャワー		300		24時間
プレミアムエリア 平日大人6名以上~ 休祝日大人8名以上~	[大人1泊]	11,000		チェックイン 1日目の10:00~17:00 チェックアウト 2日目の17:00まで
	[小人1泊]	5,500		
	[大人延泊(1日)]	5,500		10:00~20:00
	[小人延泊(1日)]	2,750		
	[大人日帰り]	7,700		
	[小人日帰り]	3,850		
フリーサイト	[大人1泊]	2,200		チェックイン 12:00~17:00 チェックアウト 11:00まで
	[小人1泊]	1,100		
	[大人延泊(1日)]	1,100		11:00~20:00
	[小人延泊(1日)]	550		
	[大人日帰り]	1,540		
	[小人日帰り]	770		

※一般サイト、オートサイトともに区画サイズが、広い区画：料金①、通常区画：料金②で表示しています。

※フリーサイト、プレミアムサイトは利用人数あたりの使用料で設定しています。

※プレミアムエリアに団体予約が入っていない、かつフリーサイトが混雑する場合は、プレミアムサイトをフリーサイト利用料金で開放します。

※消費税率10%をベースに計算していますが、消費税率が変更された場合は、変更後の税率により再計算を行います。

野外ステージ

区分	単位	利用料金	
		平日	土日・祝日
入場料を徴収しない場合	6時間まで	2,200	5,500
	6時間以上～12時間まで	4,400	11,000
	12時間以上～24時間まで	8,800	22,000
	24時間以上1日ごと	7,700	19,800
入場料を徴収する場合	入場料を徴収しない場合の利用料金の額に最高入場料に30を乗じて得た額を加算した額		

単独団体名・共同事業団体名 株式会社 VILLAGE INC

3 施設の効用を最大限に発揮するための取組及び管理経費の削減について

(1) 利用者サービスの向上への取組及び利用者の意見反映の方法について

【施設利用者に対するサービス向上施策】

- 徹底した品質管理
 - ・整理、整頓、清掃、日常点検、巡視
 - ・人材教育及びオペレーションマニュアル整備
 - ・緊急時対応マニュアル整備
 - ・植栽管理
 - ・継続雇用、地域採用、移住促進
- 利用者にも地域にも感動の時間を提供するサービス

- ニーズ分析、広報、利用者増加施策
 - ・顧客満足度調査
 - ・イベント連動PR
 - ・インターネット予約システム
 - ・クレジットカード決済システム
 - ・SNS 拡散連動企画
 - ・YouTube 連動企画

【意見反映の施策】

利用者の要望や意見は、サービス向上のための最も効果的な情報源であると考えています。サイレントクレームにならないよう、意見の言いやすい環境と謙虚に受け止め即反映できる体制をつくります。

○具体的方法

- ・手書きのアンケートフォーム回収（回収BOX設置）
- ・ウェブ上のアンケートフォームを作り利用者の声を集める
- ・インターネット書き込みの調査
- ・お客様からの聞き取り調査
- ・要望、意見、クレームの記録を資料として蓄積・分析し、施設運営に活用

○苦情への対応

マニュアルに基づく研修を行い、全スタッフに対応を徹底します。不特定多数の方が利用される施設であるため、すべての利用者が公平公正にサービスを受け、トラブルなくご利用いただくため対応には細心の注意を払います。万一発生してしまった場合には、管理責任者が誠実に対応いたします。

○PDCA サイクルによる要望・意見の反映体制構築

・PLAN

「改善計画立案と調整」

県担当者との実現に向けての協議、関係各所の調整

・DO

「計画の実施」

利用者の要望実現、満足度向上

・CHECK

「評価収集」

利用者アンケート、ネット書き込み調査、記録資料活用

・ACT

「是正処理、予防処置、新サービスの開発」

経営会議での情報共有、是正処置検討、予防処置検討、スタッフミーティング共有、サービス開発

(2) 施設・設備の機能維持、清掃等の日常管理の方法について

【施設・設備維持管理における重点事項】

本施設では下記3点に重点を置き、作成した施設・設備維持管理マニュアルを更新します。

- ①安心・安全に楽しめる施設であること
- ②自然や歴史資産を活かし触れ合える施設であること
- ③環境にやさしい施設であること

○清掃・整理整頓

- ・清掃及び整理整頓を行い、利用者満足度向上だけでなく事故防止に努める
- ・備品管理については収納場所、数量、状態を把握し台帳にて適切に管理を行う
- ・通常清掃に加え、定期清掃については年間計画を作成し実行する

○植栽管理

- ・利用者の安全性、快適性を損なわないよう美観の維持に配慮する
- ・災害時の枯れ枝や倒木に対し速やかに対応する
- ・むやみに除草するだけでなく環境保全についても考慮する

(3) 開閉日、開閉時間の設定の考え方について

【開閉場日・開閉時間について】

利用者の声として上がっている管理棟開場時間の延長について、週末や繁忙期は最大20:00までを基本とし、対応に必要な人員配置を行います。また、シャワー棟は24時間使用可能にします。

- 開場予定時間 開場（ 9:00 ）～閉場（ 17:00 ）
※但し、週末や繁忙期は閉場最大20:00とする
 - ・オートサイト、一般サイト、フリーサイト
チェックイン：12:00～17:00 まで
チェックアウト：11:00 まで
デイキャンプ：11:00～20:00
 - ・プレミアムサイト
チェックイン：1日目の11:00～17:00
チェックアウト：2日目の17:00 まで

- 閉場予定日 (毎週 水曜日)
※但し、ゴールデンウィーク、8月等の繁忙期は無休
- 営業期間 通年

単独団体名・共同事業団体名 株式会社 VILLAGE INC

3 施設の効用を最大限に発揮するための取組及び管理経費の縮減について

(4) 広報・利用促進計画

【広報・PR活動の考え方】

キャンプ場という特性上、繁忙期と閑散期の利用者数の変動が大きくなるため、冬季・平日の稼働を促進する広報・PRが重要になります。そのために情報発信の素となるコンテンツを充実させ、波及する「話題づくり」を仕掛けていきます。驚くようなイベントやプログラムを作り、各種媒体に露出したり、利用者がSNSで取り上げたりすることで、少ない費用で効果的な広報・PRが可能になります。その都度反響効果測定を行い、継続的な広報活動を行っていきます。

【具体的方法】

○施設ホームページ

リニューアル以前の波戸岬キャンプ場にはホームページがありませんでしたが、新たに制作した魅力的なホームページは多くの顧客接点を創出し、売上構築の柱を担っています。

- ・キャンプ場の予約機能
- ・クレジットカード決済システム
- ・SNSと連動し最新のキャンプ場情報を発信
- ・地域情報サイト、周辺観光施設のホームページリンクを貼り集客ツールとして活用

	ページビュー数	平均ページ滞在時間	直帰率	Mobileからの閲覧率
平成30年度	708,955	42秒	22.73%	77.10%
令和元年度	1,418,287	42秒	24.47%	75.33%

	検索数	ウェブサイトアクセス数	経路検索数	電話数
平成30年度	260,153	10,279	6,138	660
令和元年度	968,749	27,446	16,450	2,013
昨年対比	372.4%	267.0%	268.0%	305.0%

○SNS活用

広報・PR活動は従来の広告主側からの一方的な発信から、SNSを媒体とした双方向コミュニケーションへと切り替わっています。FacebookやInstagram等のSNSの専用ページを高頻度で更新し、利用者、イベント、スタッフの状況等を取り上げ魅力的な場を発信する手段として活用し、こちらも広く認知され、多くのファンを獲得するまでに成長しました。

	Instagramフォロワー数	Facebookフォロワー数	Instagram男女比率	Facebook男女比率
平成30年度	1,162	661	54:46	68:32
令和元年度	2,323	808	57:43	69:31
昨年対比	199.9%	122.4%		

○配布物

必要に応じて施設のパンフレット、チラシ等を制作し、近隣のアウトドア用品販売店や周辺の観

光スポットに設置をお願いし、認知度向上と連携を図ります。

○イベント企画

企業・団体などとの連携も含め、キャンプ場やアウトドア等の枠にとらわれない下記のような様々なイベントや使用方法を提案し実行します。イベント情報や実施後のイベントの様様をホームページやSNSで発信し、さらに効果的な広報・PRに繋がります。

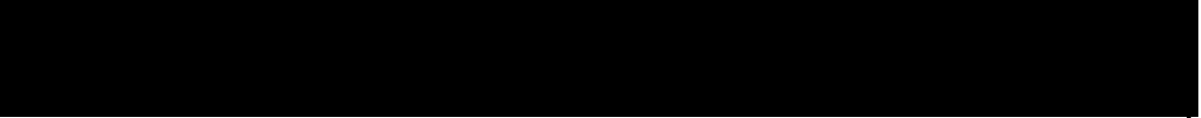
- ・シネマキャンプ
- ・防災キャンプ
- ・釣りキャンプ
- ・アクティビティ事業者連携キャンプ
- ・陣跡巡りキャンプ
- ・アウトドアウェディング
- ・企業研修、社員旅行
- ・同窓会、忘年会等
- ・ワーケーション実証実験

(5) 提案型事業の概要及び実施方針

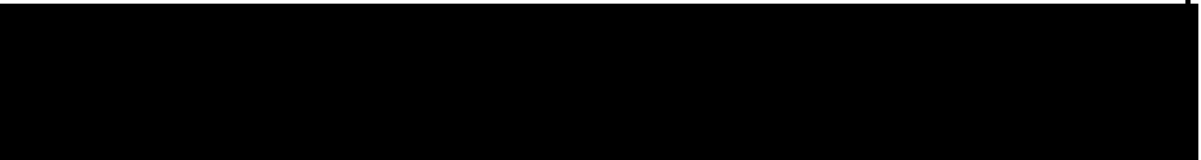
【提案型事業の考え方】

提案型事業については本施設と親和性が高く魅力向上に繋がり、利用者満足度向上や地域振興に寄与すると判断されるものに限定します。

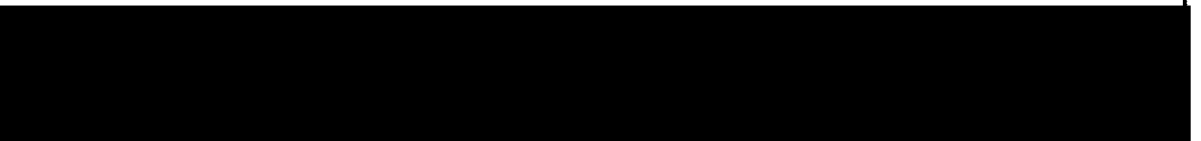
○売店事業



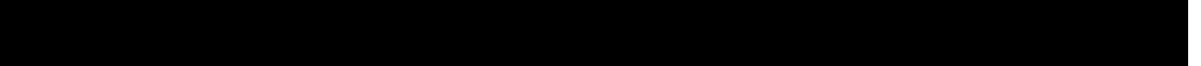
○レンタル事業



○イベント企画



○設営サポート



○観光パンフレットの設置



(6) 地元(近隣観光施設を含む)との連携

【地域連携・協力の考え方】

地域の魅力を高めることが公の施設を運営する役割の一つと考えます。波戸岬海浜公園、波戸岬キャンプ場だけが独り勝ちするということは無く、周辺事業や同業者まで含めた地域ブランド価値の向上が、結果として本施設の価値向上・利用促進に繋がるという考えのもと地域連携に取り組みます。

○指定管理者として地域の公の施設を運営する上で、地域の方々と連携し魅力的な地域づくりに貢献する

○当社の施設運営ノウハウ、資金、人材などを提供することにより、地域力を高める連携関係を構築する

- ・唐津創生会議 委員
- ・鎮西町産業祭 実行委員
- ・二夕子三丁目倉庫利活用 WG 委員
- ・Hana Marche 実行委員会 監事
- ・桃天マルシェ 実行委員
- ・さんもく 監事

【具体策】

① 地域イベントへの参加、協力(人材面)

地域の催しに積極的に参加し、交流を通して相互理解を深め相互協力関係を築きます。

② 地域の施設、団体との連携

地域と共に歩む施設となることを目的とし、商工会議所や観光協会、各種組合等と連携体制を構築し活動協力を行います。

③ 地域の教育機関との連携

地域の教育機関からの「職場見学会」「体験会」「インターン」「ボランティア」等を積極的に受け入れ、地域の教育活動にも協力します。また、近隣の大学や専門学校とも連携し、各種ボランティア、まちづくり、イベント企画など、当社のノウハウを役立てることができる活動に全面的に協力します。

④ 地域の事業者との連携

周辺アクティビティ事業者、観光事業者等と連携し、相互割引やパンフレット配布を行いお互いの送客協力を行います。

単独団体名・共同事業団体名 株式会社 VILLAGE INC

3 施設の効用を最大限に発揮するための取組及び管理経費の縮減について**(7) 収入の確保と経費削減及び収支計画について****【収入の確保】**

リニューアル後の期間で、大幅な知名度上昇を達成し、予約が取れない人気キャンプ場と言うブランディングに成功しており、コロナ渦による屋外空間の相対価値が向上していることも考慮すると、平日や日曜日を中心に利用増加が見込めると考えています。

○上記、平日稼働率の向上は、Wi-Fi 環境の整備によるリモートワークやワーケーション拠点としての活用促進により達成していきます。

○各月で設定している利用客数・稼働率等の目標数値については、月次で振り返り・分析を行い、翌月以降の利用客増加施策へ反映させます。

○施設を管理運営するに当たり、利益追求のみに走ることなく適切な維持管理や利用者サービスの充実に努めます。その上で大幅な余剰金が生み出された場合は、新たな施設設備投資・改修について、県の担当者と協議のもと実施します。

また、各種活動等を通じて地域活性化事業の支援等を検討し県民への還元も行います。

【経費削減】

現在再委託している、維持管理業務委託費に関しては、周辺施設管理（圃地草刈）、トイレ浄化槽管理、ゴミ収集、害虫駆除、キャンプ場トイレ等清掃作業等のため、削減するのは難しいと考えています。むしろ、お客様が増えることによる必要経費は妥当だと考えます。

ただ、施設立ち上げ時に多くかかった消耗品費については、今後削減できると考えます。

○人件費の抑制

繁忙期や週末等のピーク時に合わせてスタッフを配置するのではなく、アルバイトや臨時的な季節雇用ができる体制を構築します。また、担当業務にとらわれず他部門の応援体制をとり、一時的な業務過多に対応します。

また、常時ボランティア受入ができる拠点として大手企業との連携を模索しており、労働力の確保と人材育成の両立を目指します。

○水光熱費、消耗品費の抑制

売上に応じて変動する費用ですが、節電・節水の意識や代替品の検討等、日頃のコストコントロール意識が不可欠であると考えています。スタッフへの徹底や、月次データの分析により丁寧に予実管理を行い、経費削減に努めます。

(単位：千円)

① 収入計画

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
県委託料	10,240	10,380	10,140
利用料収入	27,350	28,110	28,450
その他の収入	70	70	70
内訳 野外ステージ使用料	70	70	70
合 計	37,660	38,560	38,660

② 支出計画

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費	19,250	19,500	19,750
給料、手当、社会保険料等			
業務委託費			
雑給			
施設維持管理費	13,720	14,220	13,720
維持管理業務委託			
光熱水費			
施設・設備・器具修繕料			
損害保険料			
施設運営事業費	4,690	4,840	5,190
消耗品等の需用費			
電話・通信の役務費			
管理車両、パソコン、プリンタ、AED等の賃借料			
作業用機材購入費			
ホームページ維持管理費			
合 計	37,660	38,560	38,660

単独団体名・共同事業団体名 株式会社 VILLAGE INC

4 事業計画に沿った管理を行う能力について

(1) 施設の運営体制について

○配置予定人員

・施設管理責任者1名、常勤スタッフ2～3名、嘱託社員又は業務委託1名を基本的な配置とし、業務ローテーションを組み施設運営を行います。

○配置する人材、役割分担

・責任者には継続して、地域にネットワークや人脈を持ち、経営的にも指定管理者としての施設運営に適切な人材を配置します。

・事務分担については管理責任者と経理担当にて連携し、管理機能を分担します。また、本社経営企画部門にて運営支援及び管理を行います。

・常勤スタッフ2～3名が中心となり、現場の運営・サービス向上に努めます。

・週末、祝日、繁忙期等はアルバイトを起用し、一時的な業務過多に対応します。

【人員配置予定】

・必要人員	最低人員3名 平日1～2名、土日休日2～3名を基本体制とする 週末や繁忙期：4～5名体制はアルバイト含め5名程度のシフトで回す
・役割分担	管理責任者（経営全般、施設運営全般） 常勤スタッフ：2名（予約対応、オペレーション、施設管理、数値管理、場内管理） 期間雇用（業務委託）：最低1名（受付、清掃、場内整備、特別対応等） 「繁忙期」 1、アルバイト（15日/月：8時間勤務） 2、アルバイト（15日/月：8時間勤務） 3、アルバイト（7日/月：8時間勤務） 4、アルバイト（7日/月：5時間勤務） 5、アルバイト（3日/月：4時間勤務）

【人員採用について】

当社の経営理念に賛同し働き方に順応できることを前提に、地元雇用、UI ターン等の移住促進を積極的に行います。必要に応じて他拠点からスタッフの配置換えも検討します。

○継続雇用

本施設のスタッフは運営のエキスパートとなるべく、長期的な継続雇用をすることにより円滑な施設運営、顧客提供サービスの向上を行います。

○地元雇用

職務遂行能力が同程度の候補者の場合、地元雇用を優先し地域の力を活かします。

○移住促進

地元出身でUターンを希望する方や、地域に思いを持って貢献したいというIターン希望者等は積極的に採用し、地域活性化に尽力してもらいます。

○新規雇用の教育

新規で採用したスタッフには、当社の施設にてOJT研修を行い適切なサービス提供が出来るスタッフに育成します。意欲と能力のあるスタッフに関しては、リーダーとしての育成、観光振興事業に精通した人材としての育成まで視野に入れ、育成を行います。

(2) 事故・災害時の対応について

【事故・災害時の対応】

利用者の安全対策、防犯・防災、緊急時の対応については作成した緊急時対応マニュアルを更新し、スタッフが迅速に対応出来るよう準備します。

○緊急時対応マニュアル

- ・ゲリラ豪雨、落雷、地震、停電・断水への対応
- ・利用者の怪我、泥酔、持病発生、害虫被害への対応
- ・事故発生時の確認・連絡内容
- ・事故時緊急連絡先一覧、連絡網、電話番号

○バックアップ体制

- ・施設管理責任者は休日・外出中も常に連絡が取れる体制を整えます。
- ・もし、連絡がつかない場合はスタッフまたは本社へ連絡が入るようにします。
- ・時間外は、緊急時の連絡先を管理棟に提示します。

○各自の対応

- ・緊急事態発生時は管理責任者が対応責任者となります。
- ・警察、消防等への通報を第一に行い、その後すぐに県の担当者へ連絡します。
- ・現場に不在の場合、管理責任者またはスタッフが現場へ急行します。
- ・本社の対応責任者は代表が務めます。

○保険加入

万が一に備え、施設賠償責任保険等に加入し、被災後の対応に備えます。

(3) 個人情報の保護管理、情報公開の対応について

【個人情報保護の基本的な考え方】

本施設に関する個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律及び県の個人情報保護条例の規定を満たす管理を行います。

○個人情報保護基本方針

- ・本施設関連業務にて知りえた個人情報を他に漏らさない
- ・盗難、漏洩、損失等を防ぐため原則持ち出し禁止とし、適正に管理を行う
- ・目的外の利用及び提供をしない、また必要な際には責任者の許可を得る
- ・業務目的に沿った必要最小限の範囲での収集しか行わない
- ・許可なく個人情報関連資料の複写、複製を行わない
- ・指定管理者期間終了時には原則として返還する
- ・廃棄処理を行う必要がある場合はあらかじめ決められた方法により適切に行う
- ・漏洩事故の発生又は懸念される場合は、速やかに県に報告し指示に従う
- ・上記において、指定管理者期間終了後も同様

○独自の個人情報保護マニュアルの設定

- ・指定管理者として実施機関である県及び関係機関と同様な意識を持ち、その責任を果たすためマニュアルを設定し推進する
 - ・スタッフの入社時及び年に1回、個人情報保護マニュアルについて研修を徹底する
 - ・マニュアルに基づき、個人情報保護責任者と取り扱い者の決定、禁止事項などを明確化する

○県の立ち入り検査（監査）受け入れ

- ・県の個人情報保護規定の適性運用に関する立ち入り監査を受け入れる
- ・改善点が指摘された場合には、速やかに改善に努める

○内部チェックの徹底

- ・当社本部による内部監査を1年に1回実施する
- ・必要に応じて是正処理、予防措置を講じる

○情報の一元管理

- ・個人情報に関する書類は複数ではなく一元的に管理する
- ・破棄、消去した場合もその履歴を記載する

○OA 機器の管理

- ・スタッフのパソコンには原則個人情報を保存しない
- ・全てのパソコンにセキュリティーロックを掛ける
- ・データ送信の必要性がある場合は管理責任者が行う（ファイルにパスワードをかける）

○従業員に対する保護措置

- ・雇用時に機密保持誓約書を交わす
- ・誓約書の内容は退職後も守秘義務が発生するものとする
- ・情報の管理方法について研修を行う
- ・閲覧権限に応じ「社外秘」「関係者外秘」を明記し識別を行う

○取引先等に対する保護措置

- ・業務遂行上、情報開示が必要な取引先事業者とは事前に秘密保持契約等を交わす
- ・契約時に対象となる情報、管理義務、管理期間、補償義務等を明確化する

単独団体名・共同事業団体名 株式会社 VILLAGE INC**4 事業計画に沿った管理を行う能力について****(4) 金融機関・出資者等の支援について****(5) 維持管理計画について**

○保守点検・管理

- ・法定点検は仕様書に従い確実に実施し、利用者の安全確保に努める
- ・施設点検は頻度・日時を定めチェックリストに従い異常の有無を確認する
- ・施設点検資料は次年度以降の維持管理計画の策定資料として利用する

○清掃

- ・清掃及び整理整頓を行い、利用者満足度向上だけでなく事故防止に努める
- ・通常清掃に加え、定期清掃については年間計画を作成し実行する

○補修、修繕

- ・施設不具合が発見された場合、速やかに補修、修繕対応する
- ・県の修繕範囲の不具合の場合には速やかに県へ報告し対応する
- ・備品対応年数等を考慮し、事前に修繕や買い替え等を行い施設に関わる事故を未然に防止する

○備品管理

- ・備品及び消耗品については、数量や状態を日々確認し、不足前に補充を行う
- ・指定管理者期間終了後は県と協議の上、必要に応じて無償譲渡する

○保安・警備

- ・危機管理マニュアル整備
- ・防犯防災訓練を定期的実施するほか、研修会なども実施し緊急時に対応する
- ・巡回警備強化、警察・防犯関係機関との連絡連携
- ・救命機器設置 (AED 等)
- ・防災備蓄 (管理棟事務所内)
- ・入退室管理
- ・各種保険加入

○植栽管理

- ・利用者の安全性、快適性を損なわないよう美観の維持に配慮する
- ・災害時の枯れ枝や倒木に対し速やかに対応する
- ・むやみに除草するだけでなく環境保全についても考慮する

(6) 県内発注の考え方について

【再委託時の県内業者優先発注】

現在の波戸岬海浜公園内の芝刈り、樹木管理、トイレの清掃等は地元の業者に再委託されており、地元で仕事を生んでいます。施設維持に関しては、波戸岬海浜公園全体を指定管理者だけで管理維持していくことは難しいため、既存の外注業者や地元への発注などは継続する前提で考えています。

上記以外で部分的に業務を再委託する場合も、優先的に地元業者を利用し、波戸岬海浜公園の運営自体を応援してもらえる関係構築を行うことが望ましいと考えています。しかし、キャンプ場内の樹林や草木、水周りの設備に関しては管理者が積極的に管理維持に努め、利用者にとって最適な環境を整備します。